



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 中野 伍朗 TEL 03-3466-2171
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,829	△ 22.9	157	△ 8.2	184	19.0	138	20.3
23年3月期第1四半期	2,374	△ 5.1	171	△ 42.9	154	△ 44.3	115	△ 30.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 137 百万円(27.8 %) 23年3月期第1四半期 107 百万円(- %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	13.93	-
23年3月期第1四半期	11.47	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,724	3,229	33.2
23年3月期	9,373	3,141	33.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,229 百万円 23年3月期 3,141 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
24年3月期	-	-	-	-	-
24年3月期(予想)	-	0.00	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	△20.5	60	△79.0	10	△96.2	10	△94.7	1.00
通期	7,000	△8.5	350	△19.4	250	△34.4	150	△42.3	15.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期 1Q	10,120,000 株	23年3月期	10,120,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期 1Q	166,406 株	23年3月期	166,406 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期 1Q	9,953,594 株	23年3月期 1Q	10,047,817 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第1四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第1四半期連結累計期間）	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産、輸出が大幅に減少しましたが、震災直後の生産停滞からの立ち直りや復興に向けた動きを反映し、企業の生産活動は回復傾向を示しております。しかしながら、足元では夏場の電力供給不足の生産活動への影響、原材料価格の高止まり、米国及び欧州における金融・財政への不安などによる円の独歩高など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで当社グループといたしましては、新事業の展開、付加価値の高い製品の企画・開発、生産性の向上、金融収支の改善などの努力をいたしました。

その結果として、売上高は18億2千9百万円（前年同四半期比22.9%減）、営業利益1億5千7百万円（前年同四半期比8.2%減）、経常利益1億8千4百万円（前年同四半期比19.0%増）、四半期純利益1億3千8百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<消防・防災事業>

消防・防災事業では、屋内外消火栓ホース及び補正予算関係の販売減により、売上高は7億5千万円（前年同四半期比47.4%減）、セグメント利益（営業利益）は9百万円（前年同四半期比94.9%減）となりました。

<航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門では、航空機用補用品などの販売が堅調だったことにより売上高は7億5千9百万円となりました。

工業用品部門では、発電所向け絶縁ホースなどの販売が増加し売上高は2億1千4百万円となりました。

その結果、航空・宇宙、工業用品事業の売上高は9億7千3百万円（前年同四半期比16.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1億7千9百万円（前年同四半期比603.0%増）となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業は、震災による自粛ムードや不要不急品の買い控えなどにより売上高は1億5百万円（前年同四半期比3.4%減）、販管費の圧縮によりセグメント利益（営業利益）は3千8百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期連結会計期間における流動資産は62億5千1百万円（前連結会計年度末比3億5千3百万円増）となりました。主として、現金及び預金が増加したことによるものです。また、固定資産は34億7千2百万円（前連結会計年度末比2百万円減）となりました。主として、有形固定資産が減価償却により減少したものの、新規設立した連結子会社において事業譲受による有形固定資産の取得とれんの計上により無形固定資産が増加したことによるものです。

この結果、資産合計は97億2千4百万円（前連結会計年度末比3億5千万円増）となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間における流動負債は43億7百万円（前連結会計年度末比2億8千9百万円増）となりました。主として、前連結会計年度末より仕入債務が減少したものの、短期借入金と未払法人税等が増加したことによるものです。また、固定負債は21億8千7百万円（前連結

会計年度末比2千6百万円減)となりましたが、主に長期借入金の返済によるものです。

この結果、負債合計は64億9千5百万円(前連結会計年度末比2億6千2百万円増)となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間における純資産は、32億2千9百万円(前連結会計年度末比8千7百万円増)となりました。主として、四半期純利益1億3千8百万円による増加と配当金支払による減少4千9百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、欧米の金融・財政不安などによる円高の長期化、原材料価格の高止まりなど景気の先行きは依然として厳しい状況で推移するものとみられます。

このような状況のなかで当社グループといたしましては、新事業の展開、事業の効率化、新製品の開発と徹底したコストダウンを行います。

なお、平成23年5月13日に発表いたしました業績予想に対し、損益面につきましては第1四半期までの実績がそれぞれ第2四半期の予想を上回っておりますが、今後の景気動向が不透明であることから平成23年5月13日に発表の第2四半期及び通期業績予想は据え置きといたします。

2. サマリー情報(その他)に関する情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間より、当社100%出資により新たに設立した株式会社川尻機械(特定子会社には該当しない)を連結範囲に含めております。これにより、連結子会社の数は従来の3社から4社となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,578,761	2,055,436
受取手形及び売掛金	2,182,324	1,932,738
商品及び製品	128,633	106,850
半製品	443,445	454,021
仕掛品	908,952	864,963
原材料及び貯蔵品	463,833	430,411
その他	293,339	470,670
貸倒引当金	△100,382	△63,110
流動資産合計	5,898,908	6,251,982
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,782,695	1,761,036
土地	1,093,514	1,093,514
その他（純額）	251,717	237,061
有形固定資産合計	3,127,926	3,091,611
無形固定資産	11,664	36,188
投資その他の資産		
投資有価証券	96,404	91,428
その他	281,472	295,056
貸倒引当金	△42,635	△42,016
投資その他の資産合計	335,241	344,469
固定資産合計	3,474,832	3,472,269
資産合計	9,373,741	9,724,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	942,715	690,596
短期借入金	1,070,000	1,270,000
1年内償還予定の社債	202,000	202,000
1年内返済予定の長期借入金	1,077,778	1,069,594
未払法人税等	15,466	128,257
賞与引当金	197,797	303,349
役員賞与引当金	48,000	12,000
その他	464,553	632,051
流動負債合計	4,018,311	4,307,849
固定負債		
社債	286,000	286,000
長期借入金	1,103,424	1,078,490
退職給付引当金	398,322	391,493
役員退職慰労引当金	173,114	177,656
資産除去債務	10,005	10,062
その他	243,043	243,649
固定負債合計	2,213,910	2,187,352
負債合計	6,232,221	6,495,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	2,431,828	2,520,682
自己株式	△45,493	△45,493
株主資本合計	3,177,765	3,266,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,241	△20,963
繰延ヘッジ損益	△20,004	△16,604
その他の包括利益累計額合計	△36,245	△37,568
純資産合計	3,141,519	3,229,049
負債純資産合計	9,373,741	9,724,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,374,228	1,829,394
売上原価	1,780,088	1,269,368
売上総利益	594,140	560,026
販売費及び一般管理費	422,449	402,348
営業利益	171,690	157,677
営業外収益		
受取利息	33	18
受取配当金	1,719	1,550
貸倒引当金戻入額	—	37,891
その他	13,035	9,910
営業外収益合計	14,788	49,370
営業外費用		
支払利息	20,776	16,326
社債利息	1,523	1,628
その他	9,518	4,992
営業外費用合計	31,818	22,948
経常利益	154,660	184,099
特別利益		
貸倒引当金戻入額	42,736	—
固定資産売却益	—	4,031
特別利益合計	42,736	4,031
特別損失		
固定資産除却損	506	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,631	—
特別損失合計	9,137	—
税金等調整前四半期純利益	188,259	188,131
法人税、住民税及び事業税	101,304	123,926
法人税等調整額	△28,264	△74,416
法人税等合計	73,040	49,509
少数株主損益調整前四半期純利益	115,218	138,621
四半期純利益	115,218	138,621

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	115,218	138,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,434	△4,722
繰延ヘッジ損益	△2,341	3,399
その他の包括利益合計	△7,776	△1,323
四半期包括利益	107,442	137,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,442	137,298
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,427,945	837,133	109,150	2,374,228	—	2,374,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,210	3,210	△3,210	—
計	1,427,945	837,133	112,360	2,377,438	△3,210	2,374,228
セグメント利益	188,900	25,552	38,318	252,771	△81,080	171,690

(注) 1 セグメント利益の調整額△81,080千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	750,920	973,027	105,446	1,829,394	—	1,829,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,210	3,210	△3,210	—
計	750,920	973,027	108,656	1,832,604	△3,210	1,829,394
セグメント利益	9,588	179,641	38,948	228,177	△70,501	157,677

(注) 1 セグメント利益の調整額△70,501千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

航空・宇宙、工業用品事業セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に有限会社川尻機械製作所の事業を譲受けしたことにより、のれんを25,632千円計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。